

教育・学修遂行 (*with CORONA*) 学園基本姿勢 Vol.2(R2.10.1)

コロナに向き合い & 教育・学修を遂行(できる方法を考え併行)

今、人類は新型コロナウイルスと向き合いながら、豊かに生き続けるための社会活動を続けています。(人類の歴史はウイルスとの戦い、克服) 学園構成員(学生・生徒・園児、教職員 以下“学園の仲間”と称す)のみなさまのご理解・ご協力のおかげで、玉手山学園は「教育・学修遂行とコロナ対策」を併行させています。「**感恩**」 学園の仲間が新型コロナウイルスと向き合いながら健康に教育・学修遂行を継続できるように、次のことをご理解いただき、協同・実践をお願いいたします。

1. 自衛(他衛)の当事者意識を高めて学「内外」で実践

学園の仲間およそ 5,000 人の一人一人が意識・実践

マスク着用 手洗い 消毒 大声を控える

“3密(密閉 密集 密接)”を低減 <密やで、離れよウ(距離をとろう)! の一言を>

自分の周りにコロナウイルスは“いる!” “もらわない!” 自衛(自分を守る)

自分も感染者(全く無症状だけど)かもしれない 他衛(他人を守る) 自分を守れば他人も守れる

リスク低減工夫 距離確保 仕切り板 換気 減らす(控える) 場所変え

時短 時差 分ける リモート(遠隔) 等

2. 感染者(濃厚接触者含む)の人権を守る(誹謗・中傷をしない、させない)

感染者は学園全体で守る 感染者の“元気”復活を応援する

3. 対面教育活動(授業、クラブ活動、諸行事等 キャンパスライフ)を大切にする(守り抜く)

学園の仲間が感染しない(感染者数を抑制)ことが求められる

濃厚接触者にならない(濃厚接触者数を抑制)

感染者が発生すれば、対面教育活動は“一定の制限”が強いられる(入構制限等)

※十分にリスクを考慮し、制限の規模(範囲,期間等)を絞り込む

4. コロナ波に備える 対面教育活動は続ける(ゼロにしない) 併行して 遠隔教育・学修

遠隔(*online*)教育・学修に慣れる(同時(*Real time*)双方向交信含む)

感恩

令和2年10月1日

学校法人 玉手山学園

関西福祉科学大学

関西女子短期大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学附属幼稚園